

 <p>のびどめ</p> <p>昭和46年開校 平成25年CS指定</p>	<h1>野火止小だより</h1> <p>学校地域教育目標 考え学ぶ子 仲よくする子 たくまい子 地域を愛する子</p> <p>野火止小は保護者や地域と共にあるコミュニティ・スクールです</p>	<p>めざす学校像 -全ての児童が確実に伸びる学校-</p> <p>10月号 令和5年9月29日 新座市立野火止小学校 児童数581名・学級数21学級 住所 新座市野火止 4-9-1 TEL 048-477-1211</p>	<p>10月の生活目標 協力して行事に 取り組もう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・運動会に向けて</li> <li>・感染予防に注意</li> </ul>
--	--	--	--

神無月 今、自分にできることは

校長 丹代 円

10月のお話朝会の内容です。

今日は始めに、動画を見てもらいます。  
「13歳のアイシャの一日」というアフリカのエチオピアという国のできごとです。

【映像の内容です】

(日本ユニセフ協会による3分28秒の動画です。)  
「水を得るためにどのくらいのじかんがかかるでしょう」という問いが投げかけられ、映像が始まります。

6:30  
まだ薄暗い中で、ラクダに水を運ぶポリタンクを結わえています。

6:45  
自分もポリ容器を持ち、ラクダを引きながら歩き始めます。

7:10  
あくびをこらえながら歩きます。

10:30  
日差しの中で歩きます。

10:40  
水場に到着。泥水が流れている川で水を汲み、洗濯をします。

11:20  
帰路につきます。

15:45  
家族のいる家に帰りつきます。

16:20  
ご飯の時間です。

17:40  
文字を学習しています。途中で声をかけられ、家事を始めます。途中でお茶の時間です。

21:30  
就寝。

自分の生活と比べてどうだったでしょうか。アイシャさんの生活は、なぜ、このような生活なのでしょう。女の子だからでしょうか。住んでいる国の問題でしょうか。きっと、この背景には、さまざまな理由が隠れていると思います。皆さんは、総合的な学習の時間や各教科の学習、普段の生活の中でSDGsについて学び考えること、また、聞いたことがあるでしょう。その中には、自分のことや身の回りのことを世界規模のことと繋げて考え、一人一人が何らかのアクションを起こせるように取り組んできた

と思います。自分一人ではできることは小さいことで意味がないと考える人がいるかもしれませんが、そんなことはありません。関心を持つ人が生まれ、行動する人が増えれば、大きな力につながっていくからです。皆さんが起きて、学校から帰るまでの時間、アイシャさんは水汲みを行っています。文字を学べるのはほんのわずかな時間でした。皆さんは今、しっかり学んでください。皆さん一人ひとりがしっかり学ぶことは自分だけでなく、様々な人の未来を切り開くことにつながります。普段の学習の中で知識や技術を身につけるだけでなく、何かとつなげ、何かと比べ、自分ごととして考える習慣をつけてください。自分の幸せと同じように、身の回りの人や世界の人々の幸せも考えられるのびっ子であって欲しいと思います。

R5全国学力・学習状況調査から

4月18日に行われた、6年生が対象の全国学力学習状況調査の結果です。

	野火止小	埼玉県
国語	71%	68%
算数	65%	62%

このように、県と比較しても高い結果となっています。普段の学習において、集中して取り組むことができている様子からも頷ける結果と言えます。分析から、全国や県では後半になるにしたがって無回答率が高くなる傾向なのに対し、本校では無回答率は低く、始めと終わりでもその割合は変わりません。最後まで集中して問題を解くことができる児童が多いということになります。引き続き、全ての児童が確実に伸びるよう指導してまいります。

<https://e-nobitome-c-niiza.edumap.jp/>

学校HPが9月から新しくなりました。

